

1989年2月の支えおかげ。たなければ」と語った。だから昨年3月末まで地域医療はますます重要になつてい川西さんは海外へで31年間共にわたり天郷村診療所長である。今後ともどうの医療協力に参加してお願いしたいし、西アフリカの方々市大畠木が、県知事表彰(保健衛生賞)を受賞した。」と話した。一方で消化器の診療市市大畠木が、県知事表彰(保健衛生賞)を受賞した。」と話した。一方で消化器の診療25日に伝達式が県立合同庁舎であり、松岡昌彦・飯田市保健福祉事務所長から表彰状が伝達された。川西さんは「30年余続けてこられたのは本当にありがとうございました。今後も機会があることを知り、地域医療を支えてもらうことの旨さん、村役場保健医療に援助い元天龍村診療所長川西政幸松岡所長は「長い指導にあたつた。日本内にあります。帰国後は、国内にもうございまして無医村などの課題があつた。今後も機会があることを知り、地域医療を支えてもらうこと山間部の天龍村診療所長



川西さん(右)と松岡所長

中日新聞 2021年3月24日(水)

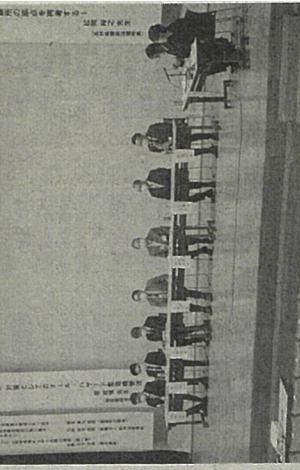


(健会会病院)
種はよりスムーズで、
行いたい」と話した。県などにいながら、
飯伊の医療従事者は
約5700人。29日
の週には飯田病院
と市大通に97台と
5回分が届く予定と
なっている。県飯田
保健所の松岡裕一所長
は「ワクチン接種
率も上がり続け、感染防
止策を徹底して」と
平井が語った。

飯伊の新型コロナ対応発表

県臨床検査学会シンポ

県臨床検査学会が28日、飯田市松尾代田の飯田女子短期大学であった。一般公開のシンポジウムでは、新型コロナウイルス感染症への飯田ト伊那地域の取り組みをテーマにした発表があった。



墨臨床検査学会のシンポジウム

な。 「簡易キット」の検査で陰性ならば医師に感染していただとして、もと時間内に人に感染させるレベルのウイルス量にはならないとして、症年会などの大人数での会食時や成人大などのイベント時で活用するかの呼びかけだ。

地域医療つなげるには

移動知事室 阿部知事が医師と懇談

「じわわせ信州移動知事室」の初日となりた1月1日午後、阿部郡守一知事と飯田市尹那地域の医師ふたりによる講義が行われた。地域医療の課題について、次世代の医師の確保や過疎地域の医療機会体制の維持などについて語り合った。

次世代の医師確保について、医師たちからニニア開通を契機からは子育て支援やに、高齢化した開業教育環境の確保（中医の事業承継で外部高一貫校など）が課題から医師を呼び込むことができるのではないかと想定して指摘した。

体制について、阿
飯の医療関係機
関が患者の同意を得
て情報を共有する
「T-SN-LINK」の
開発が進んでいます。
今後、このシステム
を活用して、地域医療
連携を強化していく方
向で、今後も取り組み
を進めたいと考えています。

し難けるにいふが難しくなる」として、いすれば両院を中心とする医療機関との間で患者情報を共有するに苦労した。

赤木村で開始するオンライン診療の取り組みを紹介する一方、経営面ではメリッシュが運営する「アーバン

トかうとして行動
の支援を提案した。
函館市は、オノ
ライム診療の支援にこ
ついて医師会がこと
の強調などもなしてい

からも「過疎地域で使つていかないといけない」と理解を示した。

2021年10月29(金) 南信州新聞
かほ子育て支援や教育環境の確保を中心とした「高一貫校など」が課題に挙げられた。生徒たちは豊かな自然環境では豊かな自己実現があるものの、買物やレジャー、住環境なども大切だとした。
県内でも霞ヶ浦は外部からイメージが悪きにくく「霞ヶ浦人」として特別なことがないといふ声が多かった。一方、リニア開通について「すぐに東京へ行ける」という心理的な影響は大きいとした。宇房リニア院長



地元医療を語る
の支援を提案した。
両部知事は、オンライン診療の支援について医師会などに協議が必要となるがからも過疎地域で使つていかないと理解を

南信州新聞 2021年10月29(金)

来ない」と指摘。一方、リニア開通について「すぐに東京へ行く」という心理的な影響は大きいとした。

「第6波」工化で耐える



新型コロナウイルス感染症対策の反省に追われる市職員たち=13日、名古屋市守山区の中保センターで（浅井慶撮影）

名古屋の保健所など 情報を効率率共有

新型コロナウイルスの感染が全国で蔓延し、愛知県でもオミクロン株による「第4波」が本格化している。名古屋市の中保健センターでは、年明けからじきさが増し、保健師たちが電話で自宅療養者に体調を確認する業務に忙づかっている。「お熱はひりますか。少し、少し落ち着いてきたらまたいですね」と三百年前のセンターでは、二部体制の保健師や看護師たちが二部屋に分かれ、療養者の体温や症状、体調変化、行動履歴などを電話で細かく聞き取っていた。センター保健師アドバイス医務主導で医師の田辺裕さん（三〇歳）の元に看護師が「やつぱりへりスうしてじ」と駆け寄る。赤ちゃんが感染

アレルギー症候もある。甲斐市では、元日に一人だった感染者数が十二日に五十八人に増加。百人ほどの自宅療養者がいる。感染者のうち医療機関など警以外に三ヶ月健診など通院常勤者もあり、課長の田中專士は「この区役へなかなか来院をお願いしている」と語る。

「第五波」がピークだった八月下旬には自宅療養者が今の大倍の六百人ほどになった。現在の電話は一日一人七~八件だが、西田センタが担当する名古屋市西区では、元日一人

は「一日に何件電話し 定という
わからない」と振り返。最近の

感染者は比較的症者の中でも、健やかで元気な人が多い。しかし、この病気は、年々増加の一途を辿り、特に高齢者では、死因の一つとして脳梗塞や心筋梗塞などの心臓血管疾患と並んで、脳梗塞の原因として最も多く見られる疾患となりました。

中部各県人手増で対応

紙 、中部の各県や各地の保健 時になつたら医療機関に協
所では、病床数や対応する 力をお願いします」と話す。
人手を増やして「第六波」 三重県では保健所の体制
に対応しきりうつしている。 開いたため、在職員を新規
で、岐阜県健康福祉部の岩谷 五度目の時の二倍以上に増や
行部長は「患者が増えてきた するために研修を実施。一日
に遊びに適宜人手を増やして対 当たり最大百人を派遣でき
応じている」と説明する。る体制で備える。
県は「自宅療養者ゼロ」の 医療機関が健診業務など
方針を掲げてきたが、第五 に協力することの厚生労働省
波では約千五百人が自宅療 の発表には、担当官が「具
養を余儀なくされたため、 体的なイメージがわからな
第五波に向けた病床数を統 い。保健所業務を日々記録
一・四倍に増やした。 するわけにはいかず、新た
医療機関による往診や健 な調整業務が出てきてしまう
康業務への協力を環部長 と気をもむ。
は、「自宅療養ゼロ」でやれ 長野県飯田市などを管轄
るところではやる方には、する飯田保健所では、「一日
変わらない」とした上で、 当たり最大で十五個程度じ
「回す人も自宅療養するみ カ検査でいいが、算上全

体では医療機関の協力を受けて五十人程度まで検査を実施している。それでも、オミクロン株には「お手上げの状態」(松岡裕二所長)として、基本的な感染対策の徹底を住民に呼び掛けている。

2022年(令和4年)1月14日(金曜日)
第28438号 会員登録
長野10版

10

中日新聞 2021年12月12日(日)

阿南学園の新施設の完成を祝いテープカットする勝野町長をら=阿南町北條



阿南学園の新設工事完了

に書着支の地区が完了した。工式が十六十、従来建設で五年、昨年設に着工し、敷地費は九平方メートルでは二

部屋や廊下に町産ヒノキ

長、連合長の佐藤健飯田吉

1月14日(金曜日) 朝刊 8頁
屋上「クロ木には手作りの
休憩」(松岡裕介市長)と
して基本的な構造が確
底を住民らに呼び掛けてい
る。

を展開している。
小木曾会長は一
た年数が少ないけ
ど事務局や委員会

「一緒に食作りの活動を続けていきたい」と語った。松岡町長は「これまでより良い食生活の運動を続けてほしい」と長年の活動を奨めた。

A black and white photograph of a group of approximately ten people, mostly men, standing in two rows. They are dressed in dark, formal attire. Several individuals in the front row are holding up rectangular documents or certificates. The text on these documents is mostly illegible but appears to be in Chinese characters. The background is a plain, light-colored wall.

澤さん、根羽村食改と飯伊支部役員

中日新聞 2021年12月21日(火)



2021年12月8(水)

模範的な運動を実践

知事表彰 壬滑さくと相手食己力受賞
保健衛生知事表彰会（小木曾千加子会）に貢献した。
（米穀改善）の伝達長が受賞。松岡裕一、飯伊吉郎部事、副支部長、支部長在職
（扶植地事務所）で手渡された。
中には「食のハラ」
櫻桃的な食生活 吉澤さくは1990年松川町食文化編一の作成や食文化
改善運動を実施して、個人で入会後、15年にわたる
さたとして、個人で入会後、15年にわたる
衛生会での貢献 第
新規販賣店開拓推進り健康づくりの実践 表文部創立4周年
連盟議会の吉澤貢子書にして学習を深め
記念式典開催や記念
らへ、団体で相手食文化地への輪を
記念式典開催や記念
貢献成に尽力。その後も2013年から

51

飯伊人口の1.2%が感染

1月からの第2波では、この地域は高に場所・場面で1・2の程度で比較的少なく抑えられた。家庭内での感染対策と接種券が届いたら選やかな外出・移動の自由度も戻る。2年間の努力を経て感染リスクが深まつたりや年度末に「飯田お祭りまつり」で呼び掛けている。

・年度始めを運営するにあたり、県や各市町村は、改めて感染拡大にならないもの。できる限りの感染対策強化を行なうべきであるとした。住民行動の感染防止対策として、年次定期検査や転勤・引越しだけではなく、定期的に行なわれる定期検査や定期的に行なわれる定期検査などを呼び掛けている。

飯田の人口約15万人のうち、約1・2%ほどが新型コロナウイルスに感染しました。うち、今年の第6波からの感染者は、人口の約1%になる。

全国の感染者は23日現在の累計で69万人で、日本の総人口約1億500万人に対する感染者割合は約1%。松岡所長は2月の県飯田市定例会見で、「全国では約5%の人が感染しておる、東京都では約8%になる。今週になって再び増加していく

るが、この地域は比較的少なく抑えられている。この地域の皆さんへの努力を思うと懐かしく思える」と指摘する。飯田お祭りまつりは、さくら市今月19日から来月10日までの期間で開催される。年次定期検査や定期的に行なわれる定期検査などを呼び掛けている。

りを前に「松岡文化はなくてはならないもの。できるだけ安全に開催するよう要請している」とした。住民行動の感染防止対策として、年次定期検査や転勤・引越しだけではなく、定期的に行なわれる定期検査や定期的に行なわれる定期検査などを呼び掛けている。

飯田市は、市内全額に医療情報」を発出しで飯田地域の接種を呼び掛けた。県や市町村は、できるだけ選やかな接種を呼び掛けている。5月から市町村に届いたら選やかな外出・移動の自由度も戻る。

南 声 言 リ川 亲行 月曆
2022年(令和4年) 1月18日 火曜日

マスク着用の徹底を
呼市や保健所が**短時間でウイルス増加**

変更。接触を自覚した本人の希望により検査を行う式に長に沿うほど、接觸者全員を検査する必要はなく、接觸行動を抑制することによってその後の感染拡大を抑える狙いだといつ。物資の配達などが自宅療養者・自宅待機による感染者や濃厚接触者がいることから、支援が受けられるとして、市と保健所は連携して自宅療養者のサポートを行った。

コロナ下でも食文化向上を

抗原検査も 飯伊調理師会が総会

県調理師会総会支
部(飯田調理師会)は19日、本年度総会を飯田市帆中平のビルラシスフックで開いた。新型コロナの影響で画面議論が繰り返され、参考して開催された。出席者は3年ぶり。
飯田保健所の指導で、出席者全員の抗原検査を行い、鑑観会も行つた。

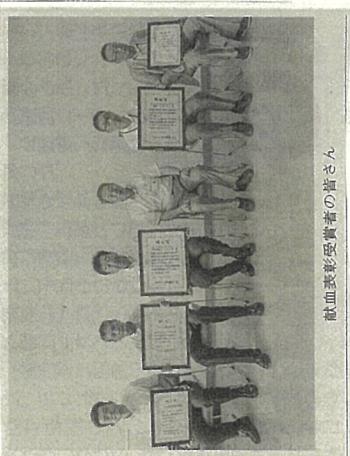
同会は昨年度、新型コロナの影響で多くの事業が中止となつたが、懇親会を行つた上で調理師試験会格付審議室や「旬」の一冊料理教室内など一部の事業を実施した。本年度も調理師試験の会格付審議室やパンくじ処理者認定試験の準備講習会などの



長は14日、献血運動の推進へ積極的に協力したとして、飯田市中那地域の5社に表彰状・感謝状を贈呈・授与した。受賞したのは、厚生労働大臣表彰のN.S.K.マイクロアレジオン松川工場(松川町平太島)、厚勞大臣感謝状の西谷營養事業所(高森町下市田)、保健衛生関係知事表彰のアピタ飯田店(飯田市蛭名古庄)、県献血運動協議会長表彰のK.O.A匠の里(同市桐林)、

ルスマ(同市川路)の5社。

松岡所長は、新型冠状ウイルスの影響で団体献血の中止などにより全国的に一時的な緊張感が緩和中、所の奥原清文所長は、繁華街地域では昨年度に前年を大きく上回る献血協力があつたことに、どしどして「ひそかに企業工場地にての献血や街头募集に取り組んできた」と話す。工場地での受付組合でこれまで皆さーと組んでくれた皆さまに感謝申し、引き続きの協力を「移動採血車には来てねた」。毎回の人頭前の方から受付者を代表し、協力してくれていける。引き続き街头献血に励み、「ぜひまた来たりたい」と語った。



皆さんの受賞者表彰式

話した。 区 OA 由那ビジネススクールの北沢和明代表は「社会貢献をしたい」という社員一人一人の思いの成果だと感謝した。

保健所長 第7波「感染サイクル早い」

感 染拡 大 「 み な し 陽 性 」 検 診 を
SM S 活 用 「 み な し 陽 性 」 検 診 を

新型コロナウイルスの第7波による感染が多くの人に傳向にある。感染者高齢で、具 県 田 町の松岡裕所長は「感染することができない」と述べてから次の人へ。
保健所も対応に追いつかない状況にある。保健所(岐阜市追手町)は、午後6時頃程度に短時間で、重い感染症を抱えている人が多い。
岐阜市追手町の松岡裕所長は「感染のリスクがある高齢者への感染拡大を防ぐには、これまで以上に適切な検査を実施する必要があります」と述べた。
岐阜市追手町の松岡裕所長は「感染のリスクがある高齢者への感染拡大を防ぐには、これまで以上に適切な検査を実施する必要があります」と述べた。
岐阜市追手町の松岡裕所長は「感染のリスクがある高齢者への感染拡大を防ぐには、これまで以上に適切な検査を実施する必要があります」と述べた。

接の聞き取りから「要」となった場合は、
当日または翌日までに保健所から連絡があり、それ以外の人は診断の翌日までに医療健康情報センターからラン
ヨードメッセージサービス(SNS)で連絡するといふことになる。SNSが使
用できない人は電話連絡となる。

る人には生活習慣病を分けるよう求め、農業中の食材は近隣者などへ支援を求めるよう要請。市町村にこの買い物支援制度を活用するのも呼び掛ける。

した同居人に差熱などの症候がある場合、検査を省略し医師の判断で感冒者みなす「みさき型症」にも言及。急増に伴つて感染外来からう泊している現状を踏まえ「医療機関の

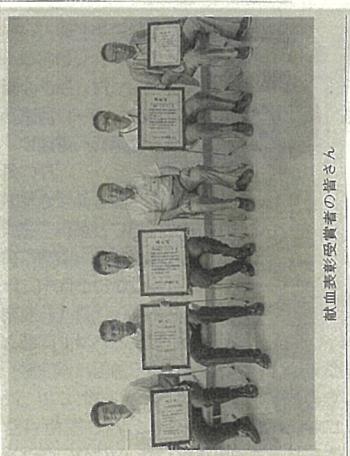
担当や検査待ちを
うながすことができる
こと期待する。
松岡所長による
と、県は運用開始
で、市町を進んでい
る。受診や検査を
食をしないまま
助の判断で「撲
滅第五回」とみな
て保健所へ届け
る。若年層で症
状が比較的軽いケ
ースを想定。重症
リスクの高い高
齢者や基礎疾患が
ある場合はみなし
性とせず、医療
機関を受診して必
要な医療につなげ
る。「撲滅症患者と
みなす」ことで自己
負担が生じるとい
つた課題はある
が、医療への負担
は軽減される」と
話した。



飯田保健所の松岡所長

献血への協力に感謝

県飯田保健福祉事務所 NSKなど5社を表彰



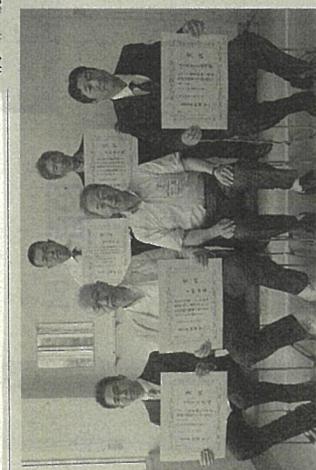
話した。 区 OA 由那ビジネススクールの北沢和明代表は「社会貢献をしたい」という社員一人一人の思いの成果だと感謝した。

食品衛生の向上に尽力

保健所

6者に知事表彰を授与

保健衛生知事表彰式が7月28日、県飯田市役所で開催された。長年食品衛生の向上に功績ある者へ、表彰が贈られた。田舎町役場の井澤副町長から表彰状が贈られた。



食品衛生で知事表彰を受けた受賞者は以下の通りです。
1. 斎藤泰彦さん（山の宿）
2. 片桐さくらさん（片桐商店）
3. 岡田一郎さん（高森町平瀬涼飲料木製葉業）
4. 佐々木重史さん（佐々木商店）
5. 飯田市立高森小学校の教諭（高森町立高森小学校）
6. 飯田市立高森中学校の教諭（高森町立高森中学校）

中日新聞 2022年10月30日(日)

県薬物乱用対策推進協会長表彰に輝く高森の羽生さん

高森町上市田の「はらまち薬局」薬理薬剤師の羽生貴文さん（39）が県薬物乱用対策推進協会長表彰を受け、一千万円に亘る賞金が贈られた。羽生さんは、一〇〇二年から高森町立高森小学校の学校薬剤師を務め、子どもたちや地域社会への薬剤活動を積極的に実行している。



私の思うこと

令和4年10月31日

新型コロナ感染症があるものがあるとします。それは人の方です。新型コロナウイルスに罹ると、体は熱いし頭は痛いし咳が出るし、苦しくてできたら寝起きで吸まらなければ入院を要します。でも人が息をして暮らしている以上誰も慢しまじょう。必ず症状はやわらぎ社会復帰できるようになります。



とします。

新型コロナ感染症が収まつたら〇〇しよう」とか言いますが、そんな日は未だ移つてゆきます。これが端午を重症化させないで、そうした日常に至るがないでしまう。吸まるべき妻の世代へ、さらにその上率0%以下よう、激しい

ウイルスのほうは次々と変異を続けています。次は小学校でクラスターが起き求めています。ウイルスは家庭身が生き延びるために、より断じすればやく自己隔離する人間の番です。このウイルスとの共存を認め、早く診断し、そして、罹った人を責めないで、そうした日は「共存」を感じできるでしょう。

ウイルスとの共生共存

飯田保健福祉事務所長 松岡裕之

ルスに罹ると、体は熱いし頭は痛いし咳は出るし、苦しくてできたら寝起きで吸まらなければ入院を要します。でも人が息をして暮らしている以上誰も慢しまじょう。必ず症状はやわらぎ社会復帰できるようになります。

の超高齢者層まで至ると、淘汰が起きています。

人類はこれまで4種類の家庭療養で吸まらなければ入院を要します。でも3日間からせいぜい5日間、を繰り返しました。3年前に人類ども出会った「新型コロナウイルス」と、人々はやわらぎ社会復帰できるコロナウイルスも、人類との摩擦を経て共存のための

飯田市上郷（丹波地区）出身。新潟大学医学部卒。

・2005-2016 自治医科大学教授

・2017- 長野県飯田保健所長

保健所

6者に知事表彰を授与

保健衛生知事表彰式が7月28日、県飯田市役所で開催された。長年食品衛生の向上に功績ある者へ、表彰が贈られた。田舎町役場の井澤副町長から表彰状が贈られた。



食品衛生で知事表彰を受けた受賞者は以下の通りです。
1. 斎藤泰彦さん（山の宿）
2. 片桐さくらさん（片桐商店）
3. 岡田一郎さん（高森町平瀬涼飲料木製葉業）
4. 佐々木重史さん（佐々木商店）
5. 飯田市立高森小学校の教諭（高森町立高森小学校）
6. 飯田市立高森中学校の教諭（高森町立高森中学校）

中日新聞 2022年10月30日(日)

県薬物乱用対策推進協会長表彰に輝く高森の羽生さん

高森町上市田の「はらまち薬局」薬理薬剤師の羽生貴文さん（39）が県薬物乱用対策推進協会長表彰を受け、一千万円に亘る賞金が贈られた。羽生さんは、一〇〇二年から高森町立高森小学校の学校薬剤師を務め、子どもたちや地域社会への薬剤活動を積極的に実行している。



表彰を受けた羽生さんは「大麻使用で検挙さ

墨付に才能かな

新規 2022年(令和4年)12月17日(土曜日)



表彰を
丹羽さんの日本画「爽」
林さんの錦(白虎図)



丹羽さんの日本画「爽」
松さんの「鶴(白式尉)」



筒井さんの写真「壹色満面」

感染対策「換気」を

公飯田保健所 軽症者登録の利用も

具飯田保健福祉事務所の松岡智之所長は24日、飯田市伊那市で新型コロナウイルスの感染が拡大し医療提供体制に負担がかかっていることを受け、オミクロン対策で冬季にかけて巡回ワクチンの接種とともに「基本的な感染対策で冬季に備えよう」と呼びかけた。

気を呼び掛けた。	掛けた。	実施する。使用す
また市販の医療用検査キットで自己検査して陽性者登録する県の「軽症者登録センタ」の利用も勧められた。	な。飯田では季節性インフルエンザとの同様流行に備え、飯田医師会により1日000人の外来診療を受けた。県飯田合同庁舎にて対応できる体制を整えたが、すでに1月9日には新たに登録センターはなく、長年に亘る県飯田市体制が確立している。JR西日本と北陸電力の本部が同じ駅前地域でこれまでのところあるとした。	は、市販の医療用検査キットを購入し、自己検査で陽性になつた場合、県医師会が初回接種(1回目)を終えた15歳未満者登録をし、陽性判定を受ける組合員。詳細は県医師会またはコールセンター(電話0435)へ。(電話0435)へ。県のワクチン接種会場のうち、県飯田市役所は12月11、24、25の3日間参する。予約は県医師会または電話0435-6480-0400へ。
ウイルスが増大しているとして「寒くなると、暖房を効かせ、鼻を塞ぎにくくなる」といふ下回る状況が続いて分析。「ワクチン接種による効果を示すには、検査をきくの方に利用してもどちらどするより心地いい」と呼び掛けた。	一方、県が中学生からは成までの軽症者登録センタ」の利用は、飯田市では余分の寒さを入れ、ウイルスが感染やすい日10人前後から人を感染になつた」と分析。「ワクチン接種による効果を示すには、検査をきくの方に利用してもどちらどするより心地いい」と呼び掛けた。	のはモテルナ社製ワクチン(B.A.4.1-1)

卷之三

シルクホテルに厚勞大臣表彰
食品衛生優良施設

食品衛生優良施設で

月 14 日(水)	飯田市錦町のシルクホテルがこのほど、食品衛生優良施設として厚生労働大臣より表彰を受けた。管轄する中田製絲の中田勝己社長が12日、県飯田保健所を訪れ、松岡昭之所長に受賞を報告した。	臣泰彦を受けた。管轄の1員として食品衛生管理の向上に努め、国營農場の日A C Pに立ち構體的に取り組み、衛生管理面や施設面ともに優良な施設。年には県食品衛生商事表彰、18年には知事表彰を受けてい
-----------	---	---

中田大臣は「食筋や保健所の推薦を受けて受賞してきた。バーナードらが宿泊環境整備を続けてきたことかが評価された。又アシフ・ガウハニでいる」と語った。「新型コロナになんとか耐え、地域の皆さんに喜んでおられるのがナリにしていただい」と豪語した。



受賞を報告した中田社長(右)

調理技術発展・指導に尽力

市吉屋そば店 小林さん 厚生相表彰



厚生労働大臣表彰を受けた小林さん
左から=飯田市の県飯田合同同人会で

飯田市東中安で「市吉屋そば店」を営む小林伸明さん(左)は、二〇二二年度で調理師制度、調理師の調理師関係功効者を対象とした厚生労働大臣表彰を受け、一千日に市吉屋の県飯田合同同人会で表彰状が伝達された。小林さんは、県や県調理師会の調理技能指導員を一九九八年から計二十四年間務めた一九二二年から導入した。そば店を経営する小林さん(右)は、印拿たつたといふ小林さ

ん。県飯田保健福祉事務所の松岡裕之所長から表彰状を手渡され「地域に貢献できることで喜びました」と話した。(近藤隆尚)

食生活改善活動に貢献

吉澤さんに厚労大臣表彰

2023年(令和5年)3月16日 木曜日
南 信 里川 幸介

闇

日曜日

松原町が、栄養

吉澤さんは199

年に農林水産省の

事務所で「食生活改

善推進協議会」の

活動に携わってきた

吉澤良子さん(右)は

長年にわたり食生

活改善推進協議会の

活動に携わってきた

吉澤さんは199

年に農林水産省の

事務所で「食生活改

善推進協議会」の

活動に携わってきた